

*課題番号	共 08-001
-------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 3 月 16 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 曾根 康雄



所属・資格 経済学部 准教授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 日本企業による国際化とサービス産業の役割：中国への進出のケース	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 曾根 康雄 ・研究分担者（役割分担） 乾 友彦（中国へのアウトソーシングの研究） 大場 允晶（中国のソフトウェア企業の事例研究）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	
	発表者名	学会名
	発表テーマ	発表年月
	曾根康雄・乾友彦・大場允晶	中国経済学会
	中国のソフトウェア産業に関する考察 －日本向けアウトソーシングを中心に－	2009年11月14日
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名
	巻・号	年月
	出版社・発行所	

※ホームページ等での公開の 否） いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
<p>(知的財産権の取得)</p>			
<p>(外部資金の獲得)</p> <p>乾は、内閣府経済社会総合研究所において「アジア経済のグローバル化とマイクロデータを使用した企業・事業所のダイナミクスの研究」の研究代表として、平成 21 年度に研究資金を獲得、平成 22 年度も引き続き研究資金が交付される予定である。</p>			
<p>(他の研究への発展)</p> <p>乾は当該研究の成果に基づいて、内閣府経済社会総合研究所において「アジア経済のグローバル化とマイクロデータを使用した企業・事業所のダイナミクスの研究」の研究代表を勤め、アジア経済全体におけるアウトソーシングの影響について研究を実施している。</p>			
<p>(その他)</p>			

* 課題番号	共 08-002
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 20 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 6 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 宮崎 正弘



所属・資格 芸術学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																												
2 研究課題	談話収録による個人を対象とした映画史、映像史の資料収集																													
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 宮崎正弘 (映像技術・演出) 研究分担者 (役割分担) <ul style="list-style-type: none"> 高野 徹 (映像技術・撮影) 田島 良一 (日本映画史) 鳥山 正晴 (映画演出) 広沢 文則 (映画技術・撮影) 松島 哲也 (映画演出) 宮沢 誠一 (映画演出) 山田 顕喜 (映画技術・撮影) 齊藤 裕人 (映画演出) 上倉 泉 (映画技術・録音) 増田 治宏 (映画技術・撮影) 																													
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																								
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																											
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮崎正弘、高野 徹 田島良一、鳥山正晴 広沢文則、松島哲也 宮沢誠一、山田顕喜 齊藤裕人、上倉 泉 増田治宏</td> <td>個人別領域別談話収録による映画史大系</td> <td>20</td> <td>2009.3.10</td> <td>日本大学芸術学部 映画学科</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>			著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	宮崎正弘、高野 徹 田島良一、鳥山正晴 広沢文則、松島哲也 宮沢誠一、山田顕喜 齊藤裕人、上倉 泉 増田治宏	個人別領域別談話収録による映画史大系	20	2009.3.10	日本大学芸術学部 映画学科																	
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																										
宮崎正弘、高野 徹 田島良一、鳥山正晴 広沢文則、松島哲也 宮沢誠一、山田顕喜 齊藤裕人、上倉 泉 増田治宏	個人別領域別談話収録による映画史大系	20	2009.3.10	日本大学芸術学部 映画学科																										

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	共 08-003
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 20 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 3 月 31 日

日本大学 総長 殿

氏 名 鞍掛 純一



所属・資格 芸術学部・美術学科・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
------	---------------------------------------	---------------------

2 研究課題	里山で考えるアート 地域に眠る文化・芸能・風景から生まれるアートの可能性と地域活性化の試み
--------	--

3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 鞍掛純一 ・研究分担者 (役割分担) 高橋幸次 (調査・資料収集・記録) 大槻孝之 (制作・現地指導) 上田薫 (調査・資料収集・記録) 奥野邦利 (調査・資料収集・映像記録)
---------------------------	---

4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)			
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月

5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の 可 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
鞍掛純一, 高橋幸次 大槻孝之, 上田薫 奥野邦利	市報とおかまち だんだん第 82号 2008. 8. 25	峠の運動会 リポート	コピー 2枚
鞍掛純一, 高橋幸次 大槻孝之, 上田薫 奥野邦利	写真データ CD	峠の運動会／盆踊り	1枚
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			
星峠地区のお米パッケージデザイン (米袋)			

* 課題番号	共08-004
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 3 月 18 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 笹井 祐子



所属・資格 芸術学部 美術学科 准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。	
2 研究課題	建築物（大講堂）とアートのコラボレーションにおける表現及び制作に関する研究				
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 笹井祐子 ・研究分担者（役割分担） 有地好登、美術制作 木村政司、デザイン制作 秋元貴美子写真撮影、編集 石田純之助、デザイン制作 宮澤真徳、美術制作 				
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の（）否） いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
笹井祐子他	江古田校舎屋外展示作品	アートギャラリー常設展示作品	1
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	共08-006
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

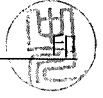
平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 4月 15日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 中 川 活 二

所属・資格 理 工 学 部 ・ 教 授



下記のとおり提出いたします。

1 種 目	一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究			注:該当する種目を○で囲んでください。																														
2 研究課題	光-スピン直接作用による超高速スピン制御																																	
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 中川 活二; 研究統括および近接場光生成シミュレーションと検証 研究分担者 (役割分担) 塚本 新; 磁性記録材料作成と光直接スピン制御実験 佐甲 徳栄; 強光電場中における電子ダイナミクスの理論計算 																																	
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yuichi Moriyama, Yoshito Ashizawa, Katsuji Nakagawa, and Akiyoshi Itoh</td> <td>Magnetics and Optics Research International Symposium for New Storage Technology (MORIS2009)</td> <td>HEAT CONDUCTION ANALYSIS OF MAGNETIC RECORDING MEDIA FOR THERMALLY ASSISTED MAGNETIC RECORDING</td> <td>2009.6</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	Yuichi Moriyama, Yoshito Ashizawa, Katsuji Nakagawa, and Akiyoshi Itoh	Magnetics and Optics Research International Symposium for New Storage Technology (MORIS2009)	HEAT CONDUCTION ANALYSIS OF MAGNETIC RECORDING MEDIA FOR THERMALLY ASSISTED MAGNETIC RECORDING	2009.6																						
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																															
Yuichi Moriyama, Yoshito Ashizawa, Katsuji Nakagawa, and Akiyoshi Itoh	Magnetics and Optics Research International Symposium for New Storage Technology (MORIS2009)	HEAT CONDUCTION ANALYSIS OF MAGNETIC RECORDING MEDIA FOR THERMALLY ASSISTED MAGNETIC RECORDING	2009.6																															
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Y. Moriyama, Y. Ashizawa, K. Nakagawa, T. Sako, A. Tsukamoto, and A. Itoh</td> <td>J. Magn. Soc. Jpn. / Heat Conduction Analysis of Magnetic Recording Media for Thermally Assisted Magnetic Recording</td> <td>33・6-2</td> <td>2009.9</td> <td>The Magnetics Society of Japan</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	Y. Moriyama, Y. Ashizawa, K. Nakagawa, T. Sako, A. Tsukamoto, and A. Itoh	J. Magn. Soc. Jpn. / Heat Conduction Analysis of Magnetic Recording Media for Thermally Assisted Magnetic Recording	33・6-2	2009.9	The Magnetics Society of Japan																				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																														
Y. Moriyama, Y. Ashizawa, K. Nakagawa, T. Sako, A. Tsukamoto, and A. Itoh	J. Magn. Soc. Jpn. / Heat Conduction Analysis of Magnetic Recording Media for Thermally Assisted Magnetic Recording	33・6-2	2009.9	The Magnetics Society of Japan																														

※ホームページ等での公開の (可) (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
H21 年度 情報ストレージ研究推進機構 (Storage Research Consortium) 助成金 (1,350 千円)			
科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 継続 (1,300 千円)			
(他の研究への発展)			
<p>光一スピンの直接作用による超高速スピン制御の応用は、平成 21 年度から開始した日本大学 N.研究プロジェクトの重要な研究課題に発展した。N.研究プロジェクトの中で、高速・高密度光磁気ハイブリッド記録に関する研究は理工学部・井上修一郎、伊藤彰義、桑本剛、羽柴秀臣などの共同研究に発展し、現象の理論的な解明に関する研究は、文理学部・石田浩、理工学部・大貫進一郎、藤川和男、山崎恒樹などの共同研究に発展している。</p>			
(その他)			

*課題番号	共 08-007
-------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 6 月 20 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 _____ 大 内 宏 友



所属・資格 _____ 生 産 工 学 部 ・ 教 授

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	一般研究(個人研究) / <input checked="" type="radio"/> 一般研究(共同研究) / 総合研究			注:該当する種目を○で囲んでください。																																				
2 研究課題	安全安心の地域社会に向けた持続可能な環境共生型街づくりに関する研究																																							
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 大 内 宏 友 ・研究分担者 (役割分担) (学内分担者) 坂 口 浩 一 (光工学・情報通信) 神 田 亮 (振動工学) 																																							
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">発表者名</th> <th style="width: 25%;">学会名</th> <th style="width: 25%;">発表テーマ</th> <th style="width: 25%;">発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																					
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">著者・執筆者</th> <th style="width: 35%;">著書名・雑誌名/論文名</th> <th style="width: 10%;">巻・号</th> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 15%;">出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大内宏友・坂口浩一 神田 亮</td> <td>日本大学生産工学部研究報告 A (理工系) 簡易な耐震診断法による木造住宅の耐震性に関する統計量の推定</td> <td>第 43 巻 第 1 号</td> <td>2010年6月</td> <td>日本大学生産工学部</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	大内宏友・坂口浩一 神田 亮	日本大学生産工学部研究報告 A (理工系) 簡易な耐震診断法による木造住宅の耐震性に関する統計量の推定	第 43 巻 第 1 号	2010年6月	日本大学生産工学部																										
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																				
大内宏友・坂口浩一 神田 亮	日本大学生産工学部研究報告 A (理工系) 簡易な耐震診断法による木造住宅の耐震性に関する統計量の推定	第 43 巻 第 1 号	2010年6月	日本大学生産工学部																																				

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は, 理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得) 「救急医療システムのドクターカーと WebGIS・GPS との融合化による生命環境モデルの構築」 独立行政法人科学技術振興機構 (JST) 深掘調査 A.個別問題解決型研究 に採択。			
(他の研究への発展) 地球環境・地圏生物圏も視野に入れた生命環境のモデル化を目指し、人類を含む全ての生物種が永続的に生存しえる連続した関係性によって成り立つ持続可能な地球環境について、GIS (地理情報システム) を用いた都市・地域環境の総合的な解析により地球環境問題への提案を行うべく、研究を発展させていく予定である。			
(その他)			

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 5月 14日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 加藤 康 司



所属・資格 機械工学科・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <input checked="" type="radio"/> 一般研究(共同研究) / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																											
2 研究課題	ロハスの家・メカニカルの研究																												
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 加藤康司 (水潤滑・吸着盤) ・研究分担者 (役割分担) 坂野進 (平成21年に退職後、西本哲也が継続、安全・救命) 清水誠二 (水処理方法) 橋本純 (環境共生材料等の加工法・太陽光反射熱利用)																												
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青山智彦, 彭国義, 清水誠二</td> <td>日本ウォータージェット学会</td> <td>鞘付ノズルを用いて形成されるキャビテーション噴流の観察</td> <td>2009年1月24日</td> </tr> <tr> <td>西本哲也</td> <td>科学技術交流財団 第7回 人体損傷に基づく衝撃力測定・評価システムの開発に関する研究会</td> <td>バイタルサインの検出と人体損傷のマクロ・ミクロ評価</td> <td>2009年1月29日</td> </tr> <tr> <td>西本哲也</td> <td>自動車技術会関東支部 2008年度学術研究講演会</td> <td>静的荷重を負荷した脳実質の細胞損傷に関する研究</td> <td>2009年3月3日</td> </tr> <tr> <td>A. Hashimoto and S. Nakamura</td> <td>World Tribology Congress 2009</td> <td>Fracture of Grass Plate Induced by Frictional Forces and the Applications</td> <td>2009年9月6-11日</td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	青山智彦, 彭国義, 清水誠二	日本ウォータージェット学会	鞘付ノズルを用いて形成されるキャビテーション噴流の観察	2009年1月24日	西本哲也	科学技術交流財団 第7回 人体損傷に基づく衝撃力測定・評価システムの開発に関する研究会	バイタルサインの検出と人体損傷のマクロ・ミクロ評価	2009年1月29日	西本哲也	自動車技術会関東支部 2008年度学術研究講演会	静的荷重を負荷した脳実質の細胞損傷に関する研究	2009年3月3日	A. Hashimoto and S. Nakamura	World Tribology Congress 2009	Fracture of Grass Plate Induced by Frictional Forces and the Applications	2009年9月6-11日					
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																										
青山智彦, 彭国義, 清水誠二	日本ウォータージェット学会	鞘付ノズルを用いて形成されるキャビテーション噴流の観察	2009年1月24日																										
西本哲也	科学技術交流財団 第7回 人体損傷に基づく衝撃力測定・評価システムの開発に関する研究会	バイタルサインの検出と人体損傷のマクロ・ミクロ評価	2009年1月29日																										
西本哲也	自動車技術会関東支部 2008年度学術研究講演会	静的荷重を負荷した脳実質の細胞損傷に関する研究	2009年3月3日																										
A. Hashimoto and S. Nakamura	World Tribology Congress 2009	Fracture of Grass Plate Induced by Frictional Forces and the Applications	2009年9月6-11日																										
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加藤康司</td> <td>The Future of Tribology</td> <td>53巻7号</td> <td>2008年</td> <td>日本トライボロジー学会</td> </tr> <tr> <td>加藤康司</td> <td>Studies on Tribology</td> <td>84巻8号</td> <td>2008年10月</td> <td>日本学士院</td> </tr> <tr> <td>彭国義, 清水誠二, 藤川重雄</td> <td>噴流工学/水中水噴流による乱流渦キャビテーション流れの数値解析</td> <td>25巻2号</td> <td>2008年10月</td> <td>日本ウォータージェット学会</td> </tr> <tr> <td>藤井知明・出村克宣・橋本純</td> <td>コンクリート工学年次論文集/ひび割れ供試体を用いた無機系表面含浸材の透水に対する抵抗性評価</td> <td>31巻1号</td> <td>2009年</td> <td>日本コンクリート工学協会</td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	加藤康司	The Future of Tribology	53巻7号	2008年	日本トライボロジー学会	加藤康司	Studies on Tribology	84巻8号	2008年10月	日本学士院	彭国義, 清水誠二, 藤川重雄	噴流工学/水中水噴流による乱流渦キャビテーション流れの数値解析	25巻2号	2008年10月	日本ウォータージェット学会	藤井知明・出村克宣・橋本純	コンクリート工学年次論文集/ひび割れ供試体を用いた無機系表面含浸材の透水に対する抵抗性評価	31巻1号	2009年	日本コンクリート工学協会
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																									
加藤康司	The Future of Tribology	53巻7号	2008年	日本トライボロジー学会																									
加藤康司	Studies on Tribology	84巻8号	2008年10月	日本学士院																									
彭国義, 清水誠二, 藤川重雄	噴流工学/水中水噴流による乱流渦キャビテーション流れの数値解析	25巻2号	2008年10月	日本ウォータージェット学会																									
藤井知明・出村克宣・橋本純	コンクリート工学年次論文集/ひび割れ供試体を用いた無機系表面含浸材の透水に対する抵抗性評価	31巻1号	2009年	日本コンクリート工学協会																									

※ホームページ等での公開の (○)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
加藤康司	日本経済新聞 (東北版)	2009年2月7日	
加藤康司	日本経済新聞 (全国版)	2010年2月10日	
他 16件			
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
1. 発明者：橋本純・出村克宣・田村慎太郎，出願人：日本大学，名称：ひび割れ制御方法、ひび割れ長設定具、及びひび割れ制御装置，特願 2009-024287，提出日：2009年2月4日。			
2. 発明者：橋本純，出願人：日本大学，名称：脆性板材の穴あけ加工方法及び装置，特願 2009-269310，提出日：2009年11月26日。			
3. 発明者：西本哲也，出願人：日本大学，名称：非接触生体情報収集による年齢推定装置，年齢推定方法及び年齢推定プログラム，出願番号 2009-004584，提出日：平成 21年1月31日			
(外部資金の獲得)			
1. 科学研究費補正金 (基盤研究C)，平成 19年度～22年度，生体信号情報の抽出とそれによる自動車制御への応用のための実証実験研究，代表者 西本哲也			
2. タカタ財団 2009年度助成研究事業 (単年度助成)，自動車へ全衝突形態対応の救命機能を搭載するための救急医療実態に基づく傷害予測アルゴリズムの構築とその実証実験，代表者 西本哲也			
3. 平成 20年度～21年度独立行政法人交通安全環境研究所 (競争入札)，自動車の安全性向上のための生体工学研究，代表者 西本哲也			
4. 科学技術振興機構地域イノベーション創生総合支援事業，重点地域研究開発推進プログラム平成 21年度シーズ発掘試験，自動車へ救命機能を搭載するための新しい救命アルゴリズムの開発，代表者 西本哲也			
5. 日本損害保険協会，2009年度交通事故医療に関する一般研究助成，頭部外傷モデルにおける呼吸循環動態の変動および凝固傷害の原因因子解明に関する研究，代表者 阪本雄一郎，分担者 西本哲也			
6. タカタ財団 2010年度助成研究事業 (単年度助成)，自動車へ全衝突形態対応の救命機能を搭載するための救急医療実態に基づく傷害予測アルゴリズムの構築とその実証実験，代表者—西本哲也			
他 8件			
(他の研究への発展)			
(その他)			
・ (基調講演) World Tribology Congress IV 「Industrial Tribology in the Past and Future」 (平成 21年9月6日 京都)			
・ (基調講演) 自動車技術会 2008 秋季大会 傷害予測で事故死傷者をどこまで減らせるかフォーラム—傷害予測と救急医療—「ドライブレコーダによる生体情報収集と傷害予測」 (平成 20年5月22日パシフィコ横浜)			
他 基調講演 6件			
・ (対外的学生指導) 平成 21年3月2日 自動車技術会安全技術デザインコンペティション，日本地区決勝大会教員アドバイザー 日本大学は優秀賞を受賞 発表課題「NドットASV～高齢者の事故予防と早期救済を目指した安全車両～」			

* 課題番号	共08-009
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年 4月16日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 松 村 寛



所属・資格 医学部・助手

下記のとおり提出いたします。

1	種 目	一般研究(個人研究) / <input checked="" type="radio"/> 一般研究(共同研究) / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 C型肝炎ウイルスにおける5' サブゲノミックRNAの検出と肝病態との関係		
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 松村 寛 ・研究分担者（役割分担） 森山 光彦（検体の収集、結果の解析） 黒田 和道（real-timePCR、サブジェノミック RNA の検出）		
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）		
	発表者名	学会名	発表テーマ
	田村 教彰、松村 寛、 森山 光彦、黒田 和道	第495回日大例会	C型肝炎ウイルスにおけるサブゲノミックRNAの検出と肝病態の関係
			平成22年1月
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）		
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号
			年月
			出版社・発行所

※ホームページ等での公開の 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載		
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日

その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)

氏名	提出物	内容	数量

7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)

(知的財産権の取得)

なし

(外部資金の獲得)

なし

(他の研究への発展)

今後はHCV複製・増殖機序について、HCV培養細胞を用いてそのメカニズムの詳細な検討を行う予定である。

(その他)

* 課題番号	共 08-010
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年4月28日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 福家 吉伸



所属・資格 医学部・助教

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	ネフローゼ症候群における尿中補体因子測定による病態の把握と鑑別方法の確立																																									
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 福家 吉伸 ・研究分担者 (役割分担) 藤田 宜是 (腎疾患と補体活性) 里村 厚司 (腎疾患と臨床検査) 																																									
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">発表者名</th> <th style="width: 25%;">学会名</th> <th style="width: 40%;">発表テーマ</th> <th style="width: 10%;">発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福家 吉伸, 里村 厚司, 藤田 宜是, 他6名</td> <td>第52回(平成21年度)日本 腎臓学会学術集会</td> <td>特発性膜性腎症における尿中 factor H 及び C5b-9 測定による病態の把握と臨床的有用性</td> <td>2009年6月</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	福家 吉伸, 里村 厚司, 藤田 宜是, 他6名	第52回(平成21年度)日本 腎臓学会学術集会	特発性膜性腎症における尿中 factor H 及び C5b-9 測定による病態の把握と臨床的有用性	2009年6月																																
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																							
福家 吉伸, 里村 厚司, 藤田 宜是, 他6名	第52回(平成21年度)日本 腎臓学会学術集会	特発性膜性腎症における尿中 factor H 及び C5b-9 測定による病態の把握と臨床的有用性	2009年6月																																							
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">著者・執筆者</th> <th style="width: 35%;">著書名・雑誌名/論文名</th> <th style="width: 10%;">巻・号</th> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 20%;">出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																						

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	共 08-011
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年9月9日

日本大学総長 殿

氏 名 徳橋 泰明

所属・資格 医学部・教授



下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究	注: 該当する種目を○で囲んでください。																										
2 研究課題	肺癌骨転移に対する治療前予後予測と治療戦略の確立																											
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 徳橋 泰明 研究分担者 (役割分担) 龍 順之助 (治療効果判定、分析) 吉田 行弘 (四肢骨転移の評価と治療、リハビリ、QOL 評価) 網代 泰充 (脊椎転移の評価と治療) 高橋 典明 (肺癌の評価と治療) 辻野 一郎 (肺癌の評価と治療) 大森 一光 (肺癌の評価と治療) 村松 高 (肺癌の転移と治療) 高橋 元一郎 (肺癌・骨転移の評価と治療) 齋藤 勉 (肺癌・骨転移の評価と治療) 																											
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																						
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																									
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>徳橋 泰明, 吉田 行弘, 網代 泰充, 高橋 典明, 辻野 一郎, 大森一光, 村松 高, 高橋 元一郎, 齋藤 勉, 龍 順之助</td> <td>日大医学雑誌/肺癌骨転移に対する治療前予後予測と治療戦略</td> <td>69・4</td> <td>2010年8月</td> <td>日本大学医学会</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>			著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	徳橋 泰明, 吉田 行弘, 網代 泰充, 高橋 典明, 辻野 一郎, 大森一光, 村松 高, 高橋 元一郎, 齋藤 勉, 龍 順之助	日大医学雑誌/肺癌骨転移に対する治療前予後予測と治療戦略	69・4	2010年8月	日本大学医学会															
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																								
徳橋 泰明, 吉田 行弘, 網代 泰充, 高橋 典明, 辻野 一郎, 大森一光, 村松 高, 高橋 元一郎, 齋藤 勉, 龍 順之助	日大医学雑誌/肺癌骨転移に対する治療前予後予測と治療戦略	69・4	2010年8月	日本大学医学会																								

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			


* 課題番号	共 08-012
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年9月1日

日本大学 総長 殿

氏 名 里村 厚司  印

所属・資格 医学部・助教

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <input checked="" type="radio"/> 一般研究(共同研究) / 総合研究			注:該当する種目を○で囲んでください。																														
2 研究課題	維持血液透析患者における血清マンノース結合レクチンの形態と役割																																	
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 里村 厚司 研究分担者 (役割分担) 矢内 充 (IL-6 の測定) 藤田 宜是 (検査結果処理) 熊坂 一成 (各測定 of 臨床検査医学的指導) 福家 吉伸 (補体活性化経路測定) 																																	
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																										
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																															
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Satomura A, Fujita T, Fuke Y, Yanai M, Kumasaka K, et al.</td> <td>European Journal of Clinical Investigation/ Relationship between oligomer and functional serum mannose-binding lectin in chronic renal failure.</td> <td>Volume40, Issue10, Page 865-873</td> <td>2010年10月</td> <td>European Journal of Clinical Investigation, WILEY-BLACKWELL</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	Satomura A, Fujita T, Fuke Y, Yanai M, Kumasaka K, et al.	European Journal of Clinical Investigation/ Relationship between oligomer and functional serum mannose-binding lectin in chronic renal failure.	Volume40, Issue10, Page 865-873	2010年10月	European Journal of Clinical Investigation, WILEY-BLACKWELL																				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																														
Satomura A, Fujita T, Fuke Y, Yanai M, Kumasaka K, et al.	European Journal of Clinical Investigation/ Relationship between oligomer and functional serum mannose-binding lectin in chronic renal failure.	Volume40, Issue10, Page 865-873	2010年10月	European Journal of Clinical Investigation, WILEY-BLACKWELL																														

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			


* 課題番号	共 08-013
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年5月24日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 木下 浩作  印
 所属・資格 医学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	プライマリ・ケアに必要な緊急処置の教育効果の向上—人形を用いた気道管理法の実践																																									
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 木下 浩作 ・研究分担者 (役割分担) 丹正 勝久 (実技指導, 評価) 藤田 之彦 (実技指導, 評価) 櫻井 淳 (シナリオ作成, 評価, 実技指導) 																																									
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木下 浩作, 丹正 勝久, 藤田 之彦, 櫻井 淳</td> <td>第 497 回日大医学会例会</td> <td>プライマリ・ケアに必要な緊急処置の教育効果の向上</td> <td>2010 年 5 月</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	木下 浩作, 丹正 勝久, 藤田 之彦, 櫻井 淳	第 497 回日大医学会例会	プライマリ・ケアに必要な緊急処置の教育効果の向上	2010 年 5 月																																
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																							
木下 浩作, 丹正 勝久, 藤田 之彦, 櫻井 淳	第 497 回日大医学会例会	プライマリ・ケアに必要な緊急処置の教育効果の向上	2010 年 5 月																																							
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																						

※ホームページ等での公開の 可・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年4月26日

日本大学 総長 殿

氏 名 岡山 吉道



所属・資格 医学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
------	--	---------------------

2 研究課題
RS ウイルス感染による喘息発作の発現機序の解明

3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）

- ・研究代表者
岡山 吉道
- ・研究分担者（役割分担）
権 寧博（臨床実験、気道上皮実験）
林 伸一（臨床実験）

4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
Yoshimichi Okayama, et al. 岡山 吉道	第 58 回日本アレルギー学会秋季学術大会	PAF causes degranulation via PLC β 2 activation in human mast cells	2008 年 11 月
岡山 吉道、他 6 名	第 58 回日本アレルギー学会秋季学術大会	気道における肥満細胞とアレルギー	2008 年 11 月
OKAYAMA Yoshimichi, et al.	第 38 回日本免疫学会総会・学術集会	各 EGF 受容体リガンドによるヒト気道平滑筋・上皮細胞の増殖効果の相違	2008 年 11 月
Yoshimichi Okayama, et al.	第 49 回日本呼吸器学会学術講演会	ヒトマスト細胞の G α i に結合した PAF 受容体の活性化は PLC β 2 の活性化を介して脱顆粒を惹起する	2008 年 12 月
権 寧博、岡山 吉道、他 7 名	第 59 回日本アレルギー学会秋季学術大会	Activation of PAF receptor via PLC β 2 activation leads to degranulation in human lung mast cells	2009 年 5 月
岡山 吉道、権 寧博、他 6 名	第 59 回日本アレルギー学会秋季学術大会	ErbB 受容体シグナルによる気道上皮透過性バリア機能の制御	2009 年 10 月
林 伸一	第 50 回日本呼吸器学会学術講演会	気管支喘息急性発作時に過剰産生される EGF と amphiregulin の気道リモデリングへの関与の検討	2009 年 10 月
		ステロイド療法	2010 年 4 月

5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）

著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Yasuhiro Gon, Yoshimichi Okayama, et al.	J Allergy Clin Immunol/ Tissue remodeling induced by hypersecreted epidermal growth factor and amphiregulin in the airway after an acute asthma attack	124・5	2009 年 11 月	American Academy of Allergy, Asthma & Immunology

※ホームページ等での公開の 可・否） いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
<p>(知的財産権の取得)</p> <p>発明の名称: 新規ヒトマスト細胞活性化阻害ペプチド特願 2009-206324 号</p> <p>①発明者 岡山吉道、羅智靖</p> <p>②出願日 2009年9月11日</p> <p>③出願人 日本大学</p> <p>④発明の内容の概略</p> <p>25 アミノ酸からなるペプチドでヒトマスト細胞を前処置しておくことと抗原刺激による IgE 依存性の脱顆粒およびプロスタグランジン D2 産生を統計学的有意に抑えることができる。</p> <p>(外部資金の獲得)</p> <p>科学研究費補助金の採択状況</p> <p>岡山吉道 (研究代表者) 20-22 年度 基盤研究 (C) 「ヒト高親和性 IgE 受容体ベータ鎖のマスト細胞と好塩基球での発現と役割」</p> <p>岡山吉道 (研究分担者) 22 年度 基盤研究 (C) 「特発性慢性蕁麻疹の病態解明と新規診断法確立」</p> <p>岡山吉道 (研究分担者) 22 年度 基盤研究 (B) 「FcεRI β 鎖 ITAM によるマスト細胞活性化の fine-tuning の分子機構」</p> <p>権 寧博 (研究代表者) 21-22 年度 基盤研究 (C) 「気道と上皮透過性制御因子の同定と、気道炎症の関与について」</p> <p>(他の研究への発展)</p> <p>岡山吉道 21 年度 保健医療分野における基礎研究推進事業 「マスト細胞機能制御を目指した創薬研究」</p> <p>岡山吉道 21 年度 共同研究(ノバルティスファーマ株式会社) 「Effect of IgE on the differentiation and function of immature human mast cells in vitro」</p> <p>岡山吉道 21 年度 共同研究(武田薬品工業株式会社) 「ヒト肥満細胞の単離および同細胞における MrgX2 遺伝子発現と神経性ペプチドに対する反応性確認」</p> <p>(その他)</p>			


* 課題番号	共 08-015
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成23年3月8日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 大島 秀規 

所属・資格 医学部・講師（専任扱）

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	慢性電気刺激による神経再生および神経可塑的变化の誘導に関する研究																																				
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 大島 秀規（研究総括および発表，神経系細胞の形態学的検討，発現蛋白の定量的検討） ・研究分担者（役割分担） 山本 隆充（神経刺激条件の検討） 深谷 親（慢性電気刺激モデルの作成） 山下 晶子（グリア系細胞の形態学的検討） 相澤 信（組織学的検索結果の総括） 片山 容一（研究立案および概略の調整） 																																				
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大島 秀規, 山下 晶子, 深谷 親, 相澤 信, 山本 隆充, 片山 容一, 他2名</td> <td>第499回日大医学会例会</td> <td>ラット感覚・運動皮質に対する慢性電気刺激がアストロサイトとニューロンに与える影響</td> <td>2010年9月</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	大島 秀規, 山下 晶子, 深谷 親, 相澤 信, 山本 隆充, 片山 容一, 他2名	第499回日大医学会例会	ラット感覚・運動皮質に対する慢性電気刺激がアストロサイトとニューロンに与える影響	2010年9月																											
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																		
大島 秀規, 山下 晶子, 深谷 親, 相澤 信, 山本 隆充, 片山 容一, 他2名	第499回日大医学会例会	ラット感覚・運動皮質に対する慢性電気刺激がアストロサイトとニューロンに与える影響	2010年9月																																		
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																														
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																	

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	共 08-017
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 11 月 1 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 鯉江 洋



所属・資格 生物資源科学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	鯨類における循環器機能に関する研究																																				
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 鯉江 洋 研究の総括および臨床的循環器検査担当 研究分担者 (役割分担) 伊藤琢也 鯨類の末梢血球機能担当 森友忠昭 鯨類の腎機能担当 鈴木美和 鯨類の生理機能担当 																																				
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特になし</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	特になし																														
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																		
特になし																																					
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ito T, Koie H, Segawa T, Kato M, Yanagisawa M, Ueda K, Kuwano R, Suzuki M, Moritomo T, Sakai T.</td> <td>The Veterinary Journal/ Bone marrow biopsy from the flipper of a dolphin</td> <td>185</td> <td>2010年8月</td> <td>ELSEVIER</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	Ito T, Koie H, Segawa T, Kato M, Yanagisawa M, Ueda K, Kuwano R, Suzuki M, Moritomo T, Sakai T.	The Veterinary Journal/ Bone marrow biopsy from the flipper of a dolphin	185	2010年8月	ELSEVIER																									
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																	
Ito T, Koie H, Segawa T, Kato M, Yanagisawa M, Ueda K, Kuwano R, Suzuki M, Moritomo T, Sakai T.	The Veterinary Journal/ Bone marrow biopsy from the flipper of a dolphin	185	2010年8月	ELSEVIER																																	

※ホームページ等での公開の 可 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
特になし			
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
特になし			
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
特になし			
(外部資金の獲得)			
特になし			
(他の研究への発展)			
鯨類の眼疾患の解析			
鯨類の肝疾患の解析			
(その他)			
<p>現在までほとんど研究されていなかった小型鯨類の循環器分野であるが、本研究助成金により研究が軽度ながら進展したと思われる。現在、今回得られた結果をもとにして、学部大型プロジェクトにおいて引き続き小型鯨類の生理学全般に関する研究を進めている。鯨類の研究分野は、一般の社会人にとっても非常に興味を持たれる内容であるので、本学でも最先端の鯨類研究を行っていることを世界に発信してゆきたいと思っている。</p>			